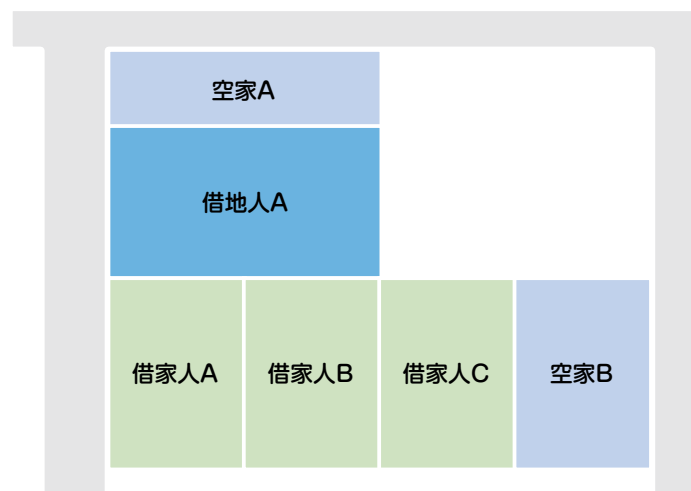


ケース

所有者である母親が末期癌で余命1年の宣告を受けている中で、相続後に起こりうる諸問題を考慮し、長男主導で売却の運びとなった話



◎ 困った点

- 相続人である長男と次男の関係が険悪である為、相続が発生した後、トラブルの元となることが、容易に想像できた。
- 空家Aの浴室で数年前に当時の賃借人が孤独死をした。
- 借家人Aと長男との間に数年来、さまざまなトラブルがある。
- 借家・空家部分は戦前からの建物で老朽化による耐震問題や火災等が心配である。

結果

クマシュー工務店独自のノウハウにより
買取り致しました!

名古屋市〇〇区

物件種別: 底地・貸家・空家

土地面積: 約142坪

所有者: 母親

年間収入: 672,000円

賃貸状況: 借地人1世帯・借家人3世帯

取引後の地主様の一言

- 「母親に判断能力がある間に処分をしなければ、大変なことになる。現状のまま売却出来るとのことだったので、お任せすることにした。」